

河川点検を効率化する高度化技術(各種ロボット)

①GalSok(刈測 かるそく)

本技術は、河川堤防で大型除草機にワンタッチで取り付ける計測機器であり、除草と同時に堤防の三次元形状を計測し、変状箇所の自動抽出、施工断面や経年データと比較することで堤防点検を客観的・定量的にモニタリングを可能にします。

②水中点検フロートロボット

河床や河川管理施設の護岸や根固工などの常時水中部での維持点検は、目視による点検が困難であり、工夫が求められています。本技術は、遠隔操作可能なプラットフォームに音響測深器とビデオカメラを装備し、精緻な水中構造物点検、効率的な河床の深淺測量を可能とします。

①NETIS: KT-180041-A

②NETIS: 登録申請中



担当部署 西日本空情支社

担当者 白井 慎太郎

Tel 06-6339-2463

Fax 06-6338-0461

道路・構造物の維持管理支援システム GISと3次元点群データを活用した道路・構造物の維持管理支援

③インフラドクター

インフラドクターは、MMSにて計測した3次元点群データと画像データを活用した新時代の維持管理支援システムです。点検、補修、設計業務の省力化、高度化、効率化を図ります。既にインフラドクターは首都高グループにおいて利用されており、業務効率化に大きく貢献しています。



④地下埋設物管理システム

地下埋設物管理システムは、CADデータを活用して、道路情報に電力会社の地中線やガス導管、下水道網などの図面情報を重ねて表示、さらに計測車両で取得した各種データがシステム上で活用でき、あらゆる方向・角度から任意に3次元データの断面を表示できることで、道路幅員や配電線までの離隔の確認が可能です。